

令和3年度
第3回運営推進委員会



報告日：令和3年8月18日

日本福祉介護サービス

小規模多機能型居宅介護すずかぜ

副管理者 佐々木 将純

運営推進委員会

内容

1. 目的・要旨-----	2
2. 教育-----	3
3. すずかぜサロン-----	4
4. アクションプラン一次評価-----	5
5. 広報活動-----	
6. 利用統計・苦情・事故・ヒヤリハット-----	9

目的

運営推進会議開催の目的

小規模多機能型居宅介護事業は、地域密着型サービスと位置づけられ、運営推進会議の設置が義務付けられております。

目的は、事業の運営にあたり、地域に住んでいる方や、地域の活動等と連携し、また、協力するなどして、地域との交流を図ることとされています。

要旨

理念を念頭にお客様・地域・職員が一丸となり住み慣れた地域での生活を継続していくを目標として取り組んでいます。コロナ禍での取り組みを知っていただき、共有していただきたいと思います。



教育

《安心・安全を提供するために》

共通して求められる能力・意識は、職員として当然に備えていなければならない基本的な能力(意識)であり、業務を遂行する上で土台となるものです。このような能力(意識)は職員自身が常に意識して身に付け、伸ばし、実践していくことが大切と考えています。

すずかぜでは、オンライン、実技研修を年間計画にて実施しています。ステージ、職種毎階層別目標を掲げ研修をしています。年間計画以外に日々の気づきの中、必要時追加研修を実施し職員教育に努めています。

2021年度個別研修計画書兼受講記録

所属部署	研修実施部署	研修実施日時	研修実施者	受講者	受講日
看護部	看護部	4月24日	山本 浩一	山本 浩一	4月24日
看護部	看護部	5月20日	山本 浩一	山本 浩一	5月20日
看護部	看護部	6月20日	山本 浩一	山本 浩一	6月20日
看護部	看護部	7月24日	山本 浩一	山本 浩一	7月24日
看護部	看護部	8月20日	山本 浩一	山本 浩一	8月20日
看護部	看護部	9月20日	山本 浩一	山本 浩一	9月20日
看護部	看護部	10月20日	山本 浩一	山本 浩一	10月20日
看護部	看護部	11月20日	山本 浩一	山本 浩一	11月20日
看護部	看護部	12月20日	山本 浩一	山本 浩一	12月20日
看護部	看護部	1月20日	山本 浩一	山本 浩一	1月20日
看護部	看護部	2月20日	山本 浩一	山本 浩一	2月20日
看護部	看護部	3月20日	山本 浩一	山本 浩一	3月20日

所属部署	研修実施部署	研修実施日時	研修実施者	受講者	受講日
看護部	看護部	4月24日	山本 浩一	山本 浩一	4月24日
看護部	看護部	5月20日	山本 浩一	山本 浩一	5月20日
看護部	看護部	6月20日	山本 浩一	山本 浩一	6月20日
看護部	看護部	7月24日	山本 浩一	山本 浩一	7月24日
看護部	看護部	8月20日	山本 浩一	山本 浩一	8月20日
看護部	看護部	9月20日	山本 浩一	山本 浩一	9月20日
看護部	看護部	10月20日	山本 浩一	山本 浩一	10月20日
看護部	看護部	11月20日	山本 浩一	山本 浩一	11月20日
看護部	看護部	12月20日	山本 浩一	山本 浩一	12月20日
看護部	看護部	1月20日	山本 浩一	山本 浩一	1月20日
看護部	看護部	2月20日	山本 浩一	山本 浩一	2月20日
看護部	看護部	3月20日	山本 浩一	山本 浩一	3月20日



すすかぜサロン

派遣型事業

《地域活動参加》

～ひがしカフェ～

介護予防教室へ派遣講師として参加いたしました。

【内容】

- ① フィードフォーワードアクション
将来、夢をもつことで積極的毎
日を送る
- ② レクリエーション
回想法
文字並び替え
隙間からでてきたものは

※脳トレ中心とし、スクリーンレク



今後とも、機会、依頼があれば積極的に参加していきます

アクションプラン一次評価



評価

階層別研修

資質向上研修

職員評価

- ① ICT を使い何度でも、フィードバック出来る環境がある為焦点を絞った学習が出来る。
- ② 実技研修では、インシデント・アクシデント、現場内での疑問点等を重点的に行っている。

まとめ

階層別研修実施し、職種に応じた研修をすることで目的に自由度が広がり、計画的にスキルアップに繋がった。

管理者評価

お客様の生活サポートをさせていただく為に、基礎理念に基づく行動が必要です。研修を通し、職員1人1人の質問の質に変化が見られている。又、日常の疑問を全体ですぐアプローチする習慣が身に付き、職員の自信、お客様へのサービス向上に結びついている。

評価

すずかぜサロン

職員評価

認知症予防事業に関しては、新型インフルエンザの為施設内での取り組みは出来ていない。

管理者評価

施設内の取組が現状難しい為、派遣講師型として機能している。第一包括様より、お声かけをいただき“ひがしカフェ”へ参加する事が出来た。

また、認知症理解を幅広い年代に浸透させる為、福祉体験学習をはじめ現在迄 4 名程受入れ出来ている。

評価

ICT の活用

共有方法

職員評価

導入時は、ツールの使用方法が難しかったが現在は使いこなしている。回覧情報等も迅速に届く為共有が簡素化された。添付容量も大きい為、動画、PDF、写真等も紙ベースに比べ見易い。

今後とも、システム理解し活用していきたい。

管理者評価

ICT 導入後レスポンスが格段に向上している。資料共有が迅速となりシステム上未確認者が分かる為伝達事項がより正確となる。新たな取組みとし、手順書等も同意を得られる御自宅に関しては、動画共有が出来る為ミスが少なくなった。

評価

レク活動の強化
～想いを現実に～

職員評価

お客様意見にフォーカスし、地域弁当、七夕、夏祭り等を実施している。職員主導ではなく、イベント内容の取り決め、準備もお客様に参加をしていただき、一緒に創り上げている。

管理者評価

お客様、職員一体感を感じながらレクレーションを創り上げている。個別対応では、お客様の思い出の地訪問、山菜取り等出来る範囲にて対応している。

子供ボランティアも数名来られ、たくさんの笑顔を見ることが出来た。



広報活動

ホームページ・Twitter の活用

「ホームページ」

すずかぜの最新情報が見ることが出来ます



「Twitter」

① 日々の活動をつぶやいています。



レクリエーション活動

アセスメントの深堀

6月

お客様思い出の場所をお聞きし、

6月17日から24日にかけて、思い出ドライブを実施。



見物先

- ・御殿場
- ・伊佐須美神社

おやつレクを毎月実施しています。

6月は、サンドイッチを実施



新型コロナウイルス
感染予防の為、
職員が作ったものを
提供しました

7月

7日に七夕祭りを実施

短冊に願いを書いて頂き飾りました。



お客様ご自身で作成した
うちわを持ち帰って
いただきました。

16日 田事のお弁当注文し、食事会を実施



わっぱめしに関する
お話を聞くことが
できました

7月おやつレク フルーツゼリー



2種類の味を
職員が準備し、
お客様に
盛り付けて頂き
ました。

8月

10日に夏祭りを実施



盆踊りやお祭り
の思い出を
聞くことができ、
たのしんで頂け
ました。

施設内レクについて

施設内では、リズム体操やカラオケ等感染症対策を
施しながら実施しています。

お客様の活力の1つになるよう自然に脳、体、心が動く
レク活動を目指しております。

9月予定

芋煮会 18日 豚汁、田楽調理

10月予定

紅葉ドライブ 18日から24日

手作りおやつ フルーツ餡蜜 作成

月間サービス利用数 平均（7月統計）

	月間実人数	1日平均
通い	23名	12.4名
泊まり	11名	5.5名
訪問	11名	6.6名
その他	1名	0.3名
利用実人数	24名	17.5名

苦情・ヒヤリハット・事故（6月1日～7月31日）

	施設内	御自宅から報告
苦情	4	0
ヒヤリハット	2	0
事故	6	3

《重大事故》

骨折事故 1 件

1 設置及び運営主体	有限会社日本福祉介護サービス
2 施設名・施設種別	小規模多機能型居宅介護すずかぜ
3 事故対象者 氏名、性別、年齢、 事故前の要介護度 (当てはまる□をチェック)	氏名：渡邊 セツ子 様 性別：□男 □女 年齢：67 歳 要介護度：□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5
4 日時 注1)	令和3年 7月 10日（土） 15時 18分
5 場所 (当てはまる□をチェック)	□居室 □共有スペース（相談室や訓練室等） □トイレ・洗面所 □浴室・更衣所 □食堂・リビング □廊下 □階段 □建物敷地内 □施設敷地外 □その他（ ）
6 事故内容 (当てはまる□をチェック)	□火災 □天災 □所在不明 □暴行 □虐待 □死亡（事故） □死亡（疾病） □死亡（その他） □負傷（疾病） □負傷（骨折） □負傷（その他） □誤薬 □職員の急介連発・不祥事等 □その他（ ）
7 事故等の概要	脳腫瘍摘出手術後昨年12月より、利用開始となる。 15：18 テーブルの上のペットボトルを取る際に、視野狭窄の為視覚が 届かず右肩より転倒 ※普段より、前傾歩行、ふらつき、高次機能障害（主に見当識障害）
8 施設における 対応	15：18 本人横に口頭にて、転倒箇所確認（肩痛み訴え） 15：20 顔をぶつけていないと確認後2人介助にてベットへ移動 15：30 バイタルチェック 体温 37.3° 127/51 (72) SPO2 98% 15：40 中央病院なんでも相談室に連絡し、受診指示を仰ぐ 16：00 までの病院到着は不可の為 17：00 夜間救急受診 16：35 中央病院夜間救急受診 19：00 CT検査後右肩（上腕骨近位）骨折と診断を受ける。
9 家族等への 対応状況	19：00 二本松の義兄に診断後連絡状況を伝える。 早急に身内がない為、入院時等義兄に連絡することになっている。
10 その他参考と なる事項	